

会 議 録

会 議 名	第 2 1 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 8 回		
事 務 局	公民館 本館		
開 催 日 時	平成 2 3 年 4 月 5 日 (火) 午前 1 0 時から 1 1 時 4 0 分		
開 催 場 所	公民館本館		
出 席 委 員	阿部委員、遠藤委員、末包委員、菅沼委員、福井委員、野口委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	渡辺社会教育主事、和田主任、		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公運審の報告、社会教育委員の会議小委員会報告</p> <p>2 (仮称) 貫井北町地域センター基本設計について</p> <p>3 企画実行委員補充結果について</p> <p>4 節電協力による施設利用制限について</p> <p>5 主催事業について</p> <p>○シルバー大学準備会について</p> <p>○地域センター施設研究講座準備会について</p> <p>○子どもの人権講座準備会</p> <p>○その他</p> <p style="padding-left: 2em;">企画実行委員連絡会 (5月17日)</p> <p>○次回の日程 5月10日(火) 午前10時から 本館3階 資料室にて</p>		

司会 遠藤企画実行委員

それでは、レジュメに沿ってまず、報告からお願いします。

1 公運審の報告

渡辺（陽）：平成23年度事業計画を報告しました。事業計画については、各回報告していますが、それとは別に、3月には年間の計画案をお示ししています。計画がはじまったものに加えて、これから計画する事業についても、これくらいの枠で、いつごろ実施予定ということを表形式で報告しました。また、公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、社会教育委員の3者の会議の議題について、がテーマとなっています。3者の中では、生涯学習にかかわる地域ネットワークをテーマとしたいということが出ています。社会教育委員の小委員会のなかでも、地域ネットワークについて取り上げて検討しています。この小委員会には、公民館は通常は参加していません。ただ、今回は公民館に関わることがありましたので、館長と私が出席しました。もう一度、簡単に報告します。社会教育委員としては、長期的な目標としては、地域ネットワークをつくるということがありますが、まず、それに向けて、イベントを一緒にしては、という提案があり、そのためにも生涯学習にかかわっている方々がまず、お互いを知ることが必要ということが話されています。社会教育の委員さんのなかには、「生涯学習活動を日常展開している、公民館、特に市民の代表として活躍していただいている公民館企画実行委員のみなさんのことを知り、一緒にイベントをつくっていったら」という意向が出されました。

末包委員：日程（シーズン）は目途があるのか？

渡辺（陽）：まだ決まっていません。夏でしょうか秋でしょうか。3者の会議が5月ですので、その前に具体的に決まることはないと思いますが。

2 （仮称）貫井北町地域センター基本設計について

渡辺（陽）：前川建築設計事務所に基本設計をお願いしています。3月末に、基本設計がまとまり、完了の報告がありました。内容は概要版を見てください。今後、実施設計に移っていきます。

菅沼委員：基本設計と実施設計の違いは？

渡辺（陽）：基本的な枠組みはすべて、基本設計で決まりました。詳細については、今後、実施設計で検討していくことになります。床仕上げはどういうものがあるのか、照明はどうするか、機材教材はどうか、机はどういう配置にして、倉庫の使用は・・・というような具体的なことは普段、公民館を利用していく方が一番詳しいので、いろいろ意見をお聞きしたいということも多くなるかと思いま

す。

3 企画実行委員補充結果について

2名の募集に対して、立候補を出されましたのも2名でしたので、調整会を経ずに決定しました。吉田孝さんと森実邦明さんです。緑分館で5月から一緒に活動していただくこととなります。吉田さんは団塊の世代の地域デビュー講座、森実さんも生活日本語などで、すでに公民館活動を経験されている方なので、スムーズに協力していただけるのではないかとということでした。

4 節電協力による施設利用制限について

渡辺（陽）：平成23年3月16日から午後6時以降の施設利用制限を節電対策として行っています。現在4月末までの予定です。皆様には大変ご不便をおかけしています。5月以降に関しては防災本部から市としての対応が決まります。

和田：表をもとに利用時間減の報告をする。

菅沼委員：データから何を読みとればいいのか。

和田：閉館にともなう、総時間の減数字に注目いただきたい。

5 主催事業について

○シルバー大学準備会

和田：テーマ、内容等が一定出そろったところで、地震が発生し現在中断をしている。再開時期を5月11日（水）午後1時30分からとしたい。

福井委員：「月刊こうみんかん」を見ますと、これではシルバー大学と高齢者学級の重複受講ができないことがわかりません。市報に重複出来ない旨の掲載があるなら、こちらにもそれがわかることが掲載してあったほうがよいのでは。

渡辺（陽）：「月刊こうみんかん」5月号に、そのことを掲載するのは、なかなか難しいと思います。各館の高齢者学級の当選はがきにその旨のお知らせをすることが可能か、検討させていただきます。

○地域センター施設研究講座準備会について

渡辺（陽）：準備会を2回もちました。参加者自身がプレゼンテーションに向けて研究を積み重ねていくという、ゼミ形式の講座としました。ファシリテーターのみなさんに、その研究を見ていただくスタイルです。

○子どもの人権講座準備会

渡辺（陽）：8月末から9月を予定しています。準備会では「発達障害」「特別支援教育」「子どもへの虐待」「遊びの重要性」などのテーマが提案されています。

末包委員：準備会で意見を言い、実際の講座に参加しないのはおかしいと思うが、如何か？自分の提案した講座の時だけ参加して、そのほかの講座に参加しないのも問題だと思う。そういうのは、自主講座等の枠で受け入れることは出来ないのか？

和田：準備委員を一般募集しているなかで、そういう提案は受け付けられないというのは難しいのでは。自主講座の枠では、本人（個人）が講師になることは出来ない。

渡辺（陽）：自分の提起したこと以外関係ない、というのでは悲しいですね。幸い、子どもの人権講座では、自分の提起した講座だけでなく、他の講座も積極的に参加していただいて、むしろ新たな交流があり、いい方向で講座が終了しました。

○その他

渡辺（陽）：成人大学のテーマについて、前回決まりました内容で講師に提案しました。講師としても内容は、もう少し検討してみたいということですので、その変更案を頂きましたら、また報告します。

菅沼委員：内容はどのようなものでしたか。

遠藤委員：民俗学の分野です。日本人の死生観などの。

渡辺（陽）：お墓の研究や、死生観などの先生の研究には日本人の精神のあり方ということにとどまらず、国家が生と死をどう管理してきたのかというような、社会学的なアプローチがあります。

菅沼委員：今の時期なので、あまり暗いテーマでない方がいいのでは（死生観は、生を含んでいるとは思いますが。）

○ 企画実行委員連絡会

菅沼委員：無駄な時間を省くためにも、本館で何を発言するか事前に打合せておく必要があるのでは？

末包委員：日程が決まっていない中で難しいのでは？

福井委員・野口委員：計画を含めて、提案すればよいのでは。

菅沼委員：それでは、私が一定まとめてみるので次回の企画実行委員会で討議してほしい。

○ 福祉会館まつり

渡辺（陽）：計画どおり、5月21日（土）22日（日）で予定どおり実施します。公民館からの特別イベントとして、東日本大震災の復興が問われるなかで、阪神淡路大震災の教訓をテーマとした映画の上映と三宅島友好協会の復興への取り組みに学ぶと

	<p>いう趣旨で、協会の神島せつ子さんと山口暁彦さんをお呼びしてお話をきくことを計画しています。ぜひ、みなさんに声をかけて参加頂ければと考えています。</p>
--	---

以上